

私は五年生の十月くらいに体験を始めて、十一月に正式入部をしました。中央に入りたてのころ私は何もわからなくて心の中は不安だらけで、すこし怖かったです。そしていよいよ、体育館のドアを開けて入りました。中に入ると知らない人ばかりでしたが、不思議と不安がどこかへ飛んでいきました。

最初は少し悪いイメージをなぜか持っていて、だけどすごく優しくて、気軽に話しかけてくれたのでうれしかったです。

それから約一カ月。少しずつ練習にもなれてきて、遠征にも連れて行ってもらえるようになりました。その時、初めて試合に出させてもらって本当に嬉しかったです。試合に出ていて、レシーブもあまり出来なかったし、サーブがまわってきてネットに引っかけて入りませんでした。アタックの時にトスがまわって来て、バコンと打ったのではなく、フェイントみたいにやって決まったことが一番心に残っています。

それからどんどん練習が厳しくなっていく、ついに私もおこられるようになりました。そして私はよく鼻血が出て、入って1週間とかその位の時に体育館五十周マラソンがあって、その走っている途中で鼻血が出てしまい、その時は運が悪く、監督が「ワースト3はもう十周」と言われて、入りたての私にはすごくつらくて大変でした。でもその頑張った分、親からの差し入れとかがあって、私にとってのバレーはすごく楽しかったです。

6年生になったら本格的に出たりしました。私は力がすごく強くて、サーブが入らなくて、一度だけ横サーブの時があったのですが、空ぶりをしてすぐに止めました。

新人戦の前にLCがあって、1日目は体調はふつうだったのですが、2日目はマイコプラズマになって休んで、その後に1週間くらいまた休んでかなりおくらせてしまって、大変でした。

新人戦では優勝が出来たし、それからの練習は夏の全国に向けての練習で、山田さんの練習もやり、毎日汗が止まらないほど厳しい練習でした。

そしていよいよ全国大会。2日目から試合をします。2日目、3日目は順調で、私は心に中で喜んでいました。そして最終日、ベスト8の中に入った中央は、くじを引いて対戦相手を決めました。その相手は大阪でした。ですが中央は1セットは21-13、2セットは21-15でストレート負けでした。

夏休み後の館山合宿では、初めてだったのであまり練習についていけなくて、体調をくずしてばかりでした。自分は精神的に弱いんだなというのを改めて実感しました。自分が一番遅れてるのに…自分が一番頑張んなきゃいけないのに、休んでばかりで、とても悔しかったです。でも自分はバレーボールをやらせてもらっている以上、あきらめずに頑張ろうと思いました。館山合宿でやった練習で、低い姿勢が身について、強いボールも取れるようになりました。

この次の大会は関東大会で、毎日厳しい練習をやりました。

関東大会では、1日目は三角形で1位になり、2日目は最初の相手が宮原でした。私はベンチだったけど、応援を頑張って、勝ってと願いました。千葉中央は見事勝ち、太田をやぶって決勝戦へ。決勝戦は並四でした。私は心配しながら応援をしました。ですが、その心配はならず、ついに優勝しました。私はうれしくてたまりませんでした。キラキラ光る金メダル。黄金の優勝カップ。でも私は6年生での準レギだったから、出ることは出来なかったけど、とても嬉しかったです。

そしてこれからは5年生の練習をメインにして、冬の全国にはげみました。

全国は2日目からとても危なくて、ギリギリで三角形に勝ち、もう一つの三角形の一位と試合をしました。その相手は大阪でしたが、夏とはちがうチームで、ストレートで負けてしまいました。でも予選だったので、明日一意のチームとやって、勝てばベスト8でした。私は大阪の時に出て、サーブカットミスをして1セット目が終わったので、とても悔いが残りました。そして次の日。三角形の中のチームは芳賀北と長尾でした。芳賀北はストレート勝ちでしたが、長尾ではフルセットで負けてしまいました。でも得失点差で勝てました。その後の福井では苦戦しながらも勝つことが出来て、次の日。青森のつがるとやって負けてしまいました。

でもここまでこれたのはみなさんのおかげです。